

議 事 録

会議等の名称	令和元年度 市長と語る車座ミーティング (テーマ：東御市の子育て環境について)	開催日時	令和元年9月27日 (金) 午後 13時30分～ 午後 14時30分
		場 所	子育て支援センター2階会議室
主催者(事務局)	企画振興課	司会者	井上企画振興課長
出席者	すくすくママ〜ず 2名、田中のびのびっ子 1名、のびのび祢津 1名 滋野のびのびっこ 1名、和のびのびっこ 1名、外遊びの会 3名 当日参加保護者 2名、佐藤千絵市議会議員 合計12名 花岡市長 事務局 井上企画振興課長、掛川企画政策係長、堀内		
議 題	(報告事項)		(配布資料)
	・ 市長と語る車座ミーティング		別紙のとおり

討議内容及び経過	
	1 開会
	2 市長あいさつ
	3 車座ミーティング
	(1) テーマ及びミーティングの流れの説明 (事務局より説明)
	(2) 将来目指すべき「子育て世代に魅力的なまち」の姿について ～東御市の子育て環境について感じていること～
外遊びの会	支援センターに下の子が行っているが、センターがすごくきれいで、色んなサークルもあり楽しい。 上の子は小学校で、羽毛山から北御牧小学校に行っているが通学路が危ない。車の通行もだが、折れた木があったり、蛇やシカが出ている。シカが出たときどうやって逃げたらいいかわからない。
市長	県道なのでよく県にも伝えていきます。 北御牧の現状を言うと、なかなか田中小学校に通ってとはいかない状況。 何かいい方法があればとは思っています。 車も通るし、ニセアカシヤを一時期かなり伐採したが管理し切れていない。 シカがそんなに出ているとは知らなかったので確認します。
外遊びの会	気軽に行ける公園が少ない。芸術むらに遊具があればすごく嬉しい。中央公園も噴水があつていいが、遊具は滑り台しかない。もう少し遊具があつたら気軽に遊びに行けると思う。

<p>市長</p>	<p>中央公園の遊具に関しては、現在、業者のプロポーサルをやっています。一時期、大工さんや器用な方が木製の遊具を設置しており、滋野保育園等にありましたが、公共の遊具としてはなかなか管理が難しいところです。非常に魅力的ですが、5年経つと古くなるので更新の必要があり、長く維持できないため耐久性がある鉄製のものに替わってきております。</p> <p>また、今は設置責任が問われており、設置時には許されていた遊具の危険性が、現在指摘され撤去されています。例えば、昔のゴンドラ型の遊具がありましたが、指を挟んでけがをするということで日本中からなくなっています。補助金を出して撤去してもらっても次の遊具が設置されない状況です。</p> <p>中央公園は今の子供の年齢にあった遊具を、いい形で設置できればと思っています。芸術むら公園は、相談してみます。</p>
<p>井上課長</p>	<p>芸術むら公園に関しては、市民の方が遊具でなくても子供と大人と一緒に遊べるような催しも計画しているようですので、そういったものにもご参加頂ければと思います。</p>
<p>外遊びの会</p>	<p>上田に比べると公園とか遊べるところがすごく少ない。芸術むら公園に、以前は3階建てくらいの子供も登れるツリーハウスのようなものがあつたが、今は「危ないので入らないでください」の表示のまま何年も経っている。もう少し遊べるようなものが欲しい。小学校はランドセルでなく指定カバンで助かっている。</p>
<p>市長</p>	<p>市で指定カバンをやっているのは珍しいと思います。もともとは村と町だったので、早い時期に指定カバンになっています。先日、市長会で視察に行ったところが指定ランドセルになっていて、ああいったところもあるんだと盛り上がり、殆ど無いような感じでした。ツリーハウスの関係は、木製の遊具は誰かが管理して下さらないと、だんだん無用の長物になってしまうため、管理の課題があります。木製の遊具はすごくいいんですが。</p>
<p>外遊びの会</p>	<p>そうですね。遊具がある時は子供はすごく楽しく遊んでいて、小学校から帰ってきた子ども達がたくさん公園で遊んでいた。またあつたらいいなと思う。</p>
<p>佐藤議員</p>	<p>今日は内孫3人のおばあちゃんとして参加しました。娘はもう働いているが、3歳になるまでここで本当にお世話になり、色々な悩みがあるときに、みんなに支えてもらった。お友達もだいふ増え、大人のよりどころにもなっており、とてもありがたく、そういった中で育ててもらったと思っている。</p> <p>今芝生公園にプロポーザルで遊具を設置とのことだが、結局遊具を使えない年齢も出てくる。私は先日、身体（公益財団法人 身体教育医学研究所）で採用した、「プレーパーク」を全国に広めている方とお話した。遊具を使って遊ぶのもいいが、子供たちが自分たちで考え、土だったり、木だったりを使いながら楽しく遊べる場所がどこかほしいなと思う。四季の森までいかななくても、芝生公園とか芸術むら公園の中に2カ所ぐらいそういった場があるといいと思う。遊具が全然無いのがいいと言うわけではないが、あるものを使うだけでなく、自分たちが考えて遊ぶことができる場が、5年後とかにできるといいのではないかなと思う。</p>
<p>市長</p>	<p>自分は息子と遊んだのが千曲川の藪の中で、孫の時はまだLEDがなかったから味気ない街灯の下でのカブトムシを採りましたが、カブトムシを拾っているような状態でした。LEDになって虫が集まらなくなり、もう一回自然にカブトムシやクワガタかがかえって来ていると思います。親が、特に父親が力を発揮するのは夏の川とか森の中ですが、どうも最近は父親の山遊びの力が弱くなっているような気がします。おっしゃることもわかりませんが、整備した自然の空間を誰がどのように使うのか、管理責任はだれにあるのかといったこともあり、おそらく、行政が何時でもどうぞというふうに管理した自然の空間を提供するのは、東御市的には難しいという気もします。</p>
<p>佐藤議員</p>	<p>プレーパークをやっているのは行政ではなく、行政がバックアップしながら民間でやっている。管理するといっても自然のところでやっているため、それほど面倒ではないかなと思う。上田でも市民の森の下の棚田を使ってやろうという動きがある。</p>
<p>井上課長</p>	<p>プレーパークの内容につきましては、私どもも研究してみたいと思います。</p>

<p>すくすくママ～ず</p>	<p>子供たちが遊ばせて頂く場としてすごくありがたい空間になっていて、私も子育てにあたりすごく助かっていた。今思うのは、子育て支援センターに来れないお母さん達をいかに誘致するか。こんなに楽しい場所なんだというのを知って頂くためにはどうしたらいいかと思ながら、私たちも「リズムあそび」や「おはなし絵本」といった取り組みをさせて頂いている。こういうところに来るのがちょっと怖いと感じているお母さん達がたくさんいて、なんとなくグループができていたりして、そこに入れるかといった不安や、うちの子供が、よそのお子さんと喧嘩したり泣かせてしまったら困るという気持ちが多少ある模様。先生方にもフォローして頂いており、たくさんさんのイベントもやっているの、ポータルサイトを活用して周知して頂き、もっと多くの人に参加していただければと思う。</p> <p>もう一つは、うちの子供は東京の方にいるが、東御市に帰ってきたいと思うような企業さんがあると戻ってこれるのになと思う。なかなか働く場所がなかったり、仕事が限定されてしまうのであれば、そのまま東京で就職しようかなと子どもは言っている。そういうところを、子育て支援だけではなく、社会全体の問題として改善されていけばいいと思う。お母さん方が働きたいという意味にも、金銭面、自分のアイデンティティ、今までのキャリアを続けていきたいと色々あると思う。子育て中に仕事を中断しても、またキャリアアップできるような職場づくりもしていただければ、安心して幼少期は子どもを育て、小学校に上がったころから少しずつ、企業にもどって行けるといふような環境を作っていければと感じている。</p>
<p>すくすくママ～ず</p>	<p>出身が県外で、最初のうちは子育てを一人でやっているような状況だった。東御市の前には望月町にいて、そこで子育てサークル活動でお友達を作って皆さんに助けてもらった。東御市に引っ越してきて子育てしながら自分もなにか役に立てることがないかと思ってた時に誘ってもらい、このすくすくママ～ずにお世話になることになった。主人の親御さんにもサポートしてもらいつつ、精神的な部分や子育ての悩み等は、同世代のお母さん達にだいで助けてもらったことがある。皆様もよろしければママ～ずの活動に興味を持って頂き、恩返しする気持ちがあるなら、是非参加して頂けたらと思う。</p> <p>あとは、全保育園と小中学校にクーラーを入れて頂き、環境が良くなって子供たちも快適に過ごさせて頂いて非常に助かっている。</p> <p>ファミリーサポートセンターの講座とか開設されたそうのだが、その辺がどう機能しているのかお聞きしたいと思う。以前もファミリーサポートセンターは開設されていたと思うが、提供会員さんとの需要と供給がうまくいかず、立ち消えになってしまった経過があるということなので、今度はうまく機能させて頂けないかという思いがある。</p>
<p>柅津のびのびっこ</p>	<p>以前は小諸市に住んでいて、2年くらい前に東御市に引っ越してきた。</p> <p>公園の滑り台が好きだったが、撤去されてしまってから幼児が遊ぶ遊具が少ない。大きい子が遊ぶ遊具に登ったりしているが、もうちょっと離れていても遊べる遊具があればいい。</p> <p>あと図書館を気に入っているお母さんがいるので、子供と行きやすい環境にして頂ければ嬉しい。もうちょっと騒いでもいいというのはおかしいが、多少許されるような空間があると嬉しいと思う。</p>
<p>市長</p>	<p>子供をもっと静かにさせて欲しいという投書もありますが、子供のための図書館であってほしいと思います。公共の図書館の役割としては、人生の支えとなる本に出会える場所ということで。現状また聞いてみます。</p>
<p>滋野のびのびっこ</p>	<p>東御市は移住者の方が多いのかなという印象があるが、そういった方達は、祖父母がそばにおらず、夫婦だけで子育てをしているケースが多く見られる。少し体調が悪いときに、一時保育で預けたくても枠が少ないから断られることが多いのと、市の保育園の申請要綱を見ると、仕事・冠婚葬祭・その他病気と比較的緊急の場合のみ預けていいことになっている。少し辛い時でも預けられるように対応を柔らかくしてほしい。</p> <p>私が知っている移住者の方々は、長野に憧れ、その中でも東信地区の上田、小諸、東御を比べて、わざわざ東御に来ている人が何人かいるので、そういったところをフォローすると、東御市に来てよかったと思って貰えるのかなと思う。</p>
<p>当日参加者</p>	<p>和地区に住んでいて2年ほど前に安曇野市からきました。</p> <p>旦那も県外に両親がいて、私も離れたところに両親がいるため、核家族といった形で生活している。初めて妊娠したときは車に乗れない状況だったが、そういう時にバス停はあるがバスが通っていないところがあり、バスがもうちょっと走っていればありがたいと思った。走っている車（デマンドバス）もあるが、あれに乗せてもらっていいのかどうか分かり辛いので、もう少し分かり易くなればいいなと思う。</p> <p>和保育園のすぐ上のところに住んでいるが、田んぼの用水路の水が結構流れている所のそばに住んでいる。子どもの行動範囲が狭いので今のところは大丈夫だが、歩くようになったら水路の水の流れが激しく心配している。</p>

<p>当日参加者</p>	<p>3歳と1歳の子がいるが、東御中央公園のこれぐらの子が遊べるような遊具が撤去されてしまっている。秋になり公園に行きやすいシーズンになったが、撤去されなければよかったのと思う。年が離れている子でも遊べるような遊具を作って頂けると嬉しいなと思う。</p>
<p>田中のびのびっこ</p>	<p>佐久市出身で小4年、年長、2歳の母なのですが、上の子の入学を機に主人の実家がある東御市に帰ってきました。 横浜にもいたことがあるが、子育てセンターや四季の森のような場の提供が東御市は充実している。当時は0歳から子供を預けていたため東御市で初めて子育てを体験したが、出向く場所がたくさんあっていいなと思った。 昨日のびのびっこの会がありスタッフと会ったので、紙（事前配布シート）を真剣に考えてきた。 子育て世代に魅力的なまちとしては、子育てと仕事と介護が両立できるまちがいい。 移住しやすかったり、住みやすいまちがいいと思っている。若者が20代から活躍する活気あるまち、若者がたくさんいるまちになってほしいと思っている。街コンもあるが、東御市の魅力であるワインとかをメインにして、そこに集まって婚活ができるのが素敵だなと思う。 3年後は病児保育が欲しい。今は一人のすごい先生に頼ればいいみたいな感じではいるが、一人ではこの体制は無理。3年後には病児保育が可能になるよう、小児科医と看護師と施設の方も体制づくりをしてほしいなと思う。また、公園の充実があるといいなと思っている。 4年後には病児保育が利用可能になっていけばいいと思う。そうすると私のような母親が働きやすくなる。また、ちょうど私の親が免許返納する年になり、買い物に行けなくなるので、子育てをしながらか働き、親のフォローをしなければならぬ。親のフォローをしなければいけなくなった時、免許返納した際の支援やフォローが、4年後にできていけば話しに出た。 また、まち全体で子供を見守ると言うのは言うが、そういう体制ができていないと非常に感じている。これぐらいの車にちょっと乗るような「PTA見守り安全パトロール」と書いた紙が乗った車でお迎えに行くだけで、子どもの安全が確保できる。学校の保護者に向けて徹底してほしい。まち全体で子供を見守っていますというアピールをすればと思う。</p>
<p>和のびのびっこ</p>	<p>私も子育てと仕事の充実できる親が多いのが理想の姿。保育の充実、各保育園に看護師さんがいて、病児・病後保育がどこの保育園でもできるのが理想かなと思う。実際、私も仕事を始めて未満児で出させて頂いているが、やっぱり出ているときは不安だし、仕事始まったばかりですぐ休むというのも難しいので、専門の看護師さんがどこの保育園でもあればありがたいなと思う。子どもが小学校にあがるとき、先程ファミリーサポートの話もありましたが、子供を安心して育てられる環境があるといいと思う。</p>
<p>井上課長</p>	<p>ありがとうございました。それでは今の話を踏まえて市長お願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>事務局から答えられることは？</p>
<p>井上課長</p>	<p>サポートセンターについてお話しさせていただきます。</p>
<p>堀内</p>	<p>ファミリーサポートセンターについて確認しました。現段階では詳細なところは検討中というところですが、前年度から今年度にかけて援助をしてくれる人の研修を行っており、現段階で13名程援助をしてくれる方がおります。また、こちらの援助してくれる人につきましては広報で募集をかけ、さらに応募していく予定です。実際に援助をしてほしい人とのマッチングについては、詳細な内容の検討を進めているところです。</p>

掛川補佐	<p>先程皆さんから頂いた、3年後、5年後こうなれば良いなという姿について、我々がシートを作らせて頂いたのですが、事前に何故それをお配りしてあるかと申しますと、今、新しい「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の第2期計画というのを作っており、子育てというのは非常に重要な項目です。先程も出ておりましたが、若い方々が東御市にずっと住み、子どもを安心して生んで育てられる環境づくりというのが本当に求められていて、東御市にこれからなくてはならないテーマです。</p> <p>私達としては、この計画に反映していきたくて、そのシートに皆さんの思いを書いて頂きました。この「まち・ひと・しごと総合戦略」の第2期計画というのは、実際には来年から5年間の計画期間ですので、5年後にどういう姿になっていけばいいかという思いをお聞かせ頂き、参考にしたいとお渡ししたものです。</p> <p>先程お話がありました、若い方々に帰って来てもらう環境について、仕事がないとやはり東御市に戻ってこれない。学校を卒業していった24歳前の方々は転出超過で、25歳以上になってくると転入が若干増えてきます。15～24歳が谷底になっていて、そこから徐々に回復する。今一番懸念するのが24歳から戻ってくるUターンの方々がいらっしゃるんですが、それが5年前に比べて極度に戻りが浅くなってしまっている。その辺についても仕事づくりであり、私たちのほうでも戦略の中に入れようかと詰めて議論しています。総合的に考えて取り組めるところについては、取り組んでいきたいと考え、事務局では関係者をまじえて一生懸命話し合いをしておりますので、皆さんから頂いたお知恵を反映できるように、努力していきたいと思っております。</p>
井上課長	<p>デマンド交通については、乗合タクシーのようなものですが、自分で電話をする予約制で、スーパーや駅といった決まったところに行くバスです。その辺は、ホームページや広報等をつかって、皆さんに積極的に分かるように周知していかないといけないと思っております。ご利用したいということであれば、ご連絡頂ければ対応いたしますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それと中央公園の滑り台がなくなってしまったということで、ご不便おかけしているのですが、今、中央公園で新しい遊具を作っております。青いネットの遊具が無くなるのですが、その場所に新しい遊具の設置が予定されています。今年中に作られると思いますが、また新しい遊具ができますので楽しみにしていただければと思います。あとは一時預かりの件、図書館の件等ありますが、その辺は今日ご意見をお聞きしましたので、また担当者とも話し合っていきたいと思っておりますので、よろしく願います。</p>
	(3) 市長の子育て施策に対する思い
市長	<p>レッツ号に関しては、当初の設定が15年くらい前、70歳以上の人が運転免許をほとんど持っていないという状況の中で、どう外に出てもらおうかということから合併前から出発した制度です。怪我をしていたり妊娠していて運転できないという人にも使ってもらえますが、宣伝やお知らせが届いていないのが現実だと思っています。今は免許を持っている世代が高齢化してきて返納という問題が生じており、運転ができなくなった高齢者が必要とする公共機関は何かということを考えないといけなくなってきております。介助の人は無料にするよう制度を変えたりしています。</p> <p>昔から病児保育についての要望は高いですが実際の人数は少ないです。それは使いにくいという議論なのか、実際に病気の子供を預けるか、というかなりシビアな問題です。今は看護師さんに常駐をお願いして、海野保育園で面倒を見て貰うシステムでやっていますが、病気になった子どもが慣れたところと別のところに行くのは不安だというのは確かに感じております。ただ、病気になった子に担任が付きっきりになれるかという、それも難しいという問題です。色んなジャンルの中で、病児病後児保育をどうするかというのは悩んできており、いい答えが出せなくて本当に申し訳ないなと思っております。いつ病気になるか判らない子供のために各園に看護師を配置するのは非常に難しいとのことなので、とりあえずは、相談いただければなんとか対応をとるということになっています。また、インフルエンザが流行れば、学級閉鎖になり仕事じゃなく面倒を見てもらう必要があるため、社会全体が病気になった子供に対する親御さんの対応への理解がないといけないのではないかと思います。今の前提は会社や同僚に迷惑をかけたくない、休めない社会ということでもあるので、その辺をいろんなところで色んな議論をさせて頂かないといけないと思っております。</p> <p>学校のお迎えの件については、「PTA見守り安全パトロール」のシステムをまた教えて頂きたい。</p>
	(PTA見守り安全パトロールについて、田中のびのびっこより説明)

<p>市長</p>	<p>逃げ込む場所も大事だが、抑止の方も大事だと思います。 見守り隊には横断歩道を渡すのをやめてくれ、自分の力で渡るようにしてくれと、お願いしています。特に田中の子は横断歩道を渡らず、子供は道路を確認しないで旗を持ってる人の顔を見ています。危険を察知する経験は子供に必要と思うので、管理されたちょっとした危険性を経験させるということをみんなでやればいいなと思っています。 今日いろんな意見を頂いて、少なくとも今は遊具の問題を何とかしたいと思っています。本当は撤去される前に新しいものができているのが使う人にとってはありがたいですが、結局テープがグルグル巻きで使えない期間が長くなってしまい申し訳ないなと思っています。 図書館は親子で本を楽しむ空間にしていきたいと思っています。是非子ども優先の図書館にしたいと思っています。 今日は皆様ありがとうございました。</p>
<p>6 閉会</p>	<p>閉会</p>